LIXIL
INAX

保証書付

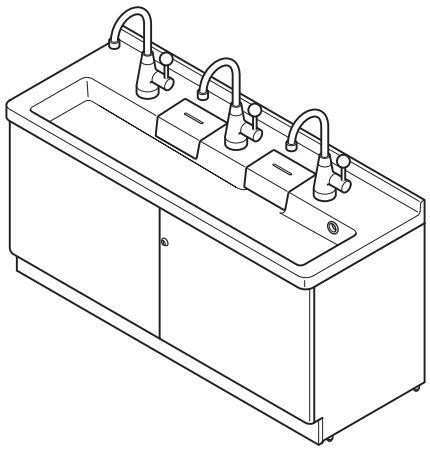
幼児用マルチシンク

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

＊転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

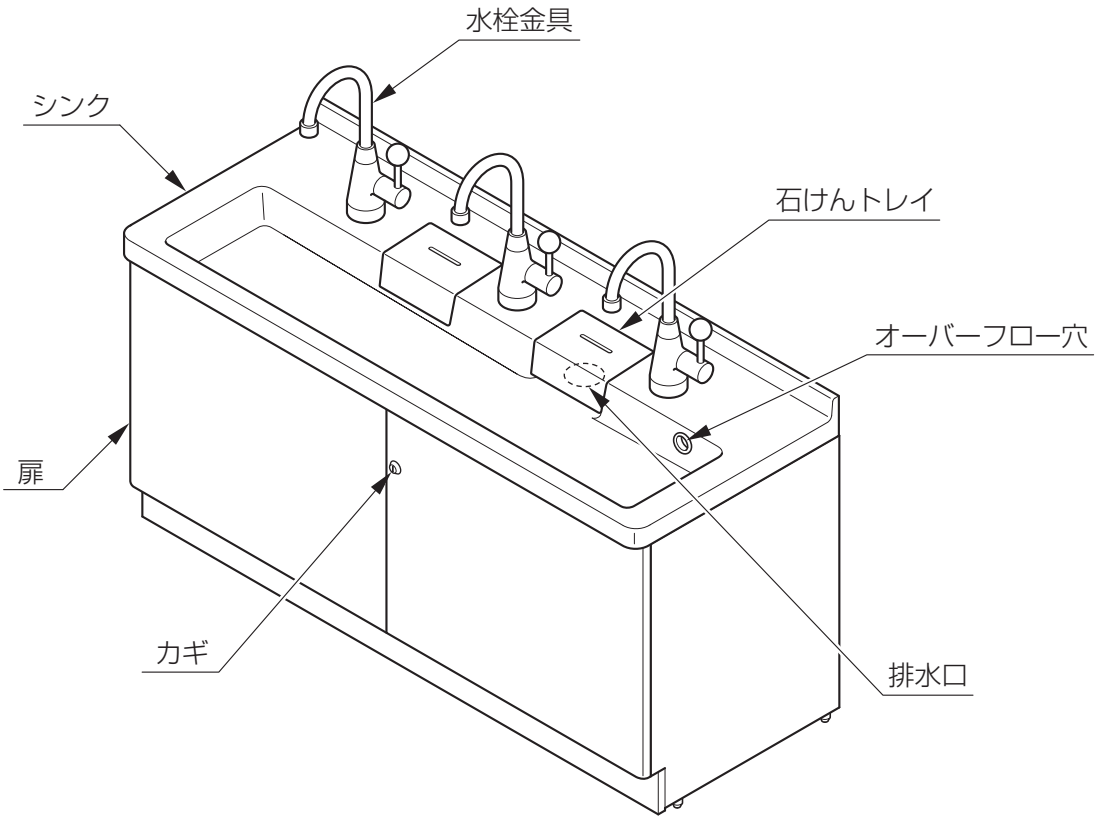


もくじ

各部の名称 ……2
安全上のご注意 ……4
使用上のご注意 ……9
ご使用方法
　1.水栓金具 ……11
　2.流量の調節 ……13
　3.キャビネット扉 ……14
　4.石けんトレイ ……18
　5.付属品（緩衝材）のご使用方法 ……18
お手入れ方法
　日頃のお掃除 ……19
　定期的なお手入れ ……22
定期的な部品交換のお願い ……28
定期的な部品点検のお願い ……29
凍結の恐れがある場合 ……30
修理を依頼される前に ……31
アフターサービスについて ……32
仕様 ……34
保証書 ……35

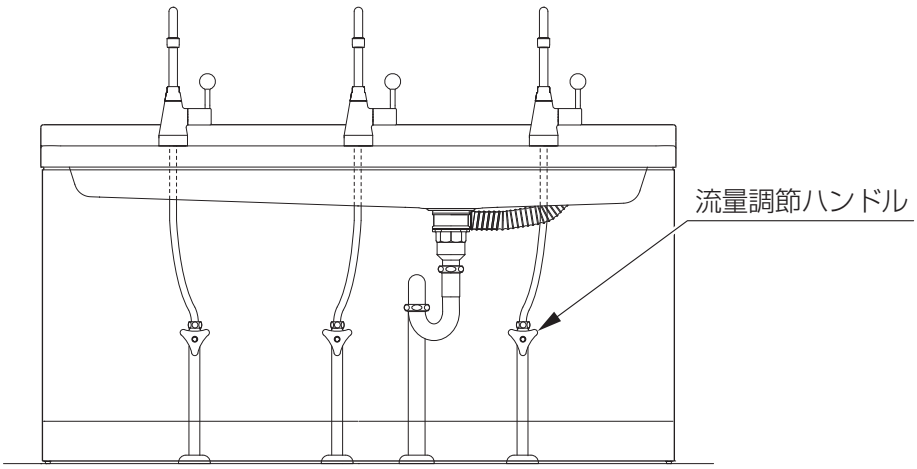
●各部の名称

キャビネットの名称

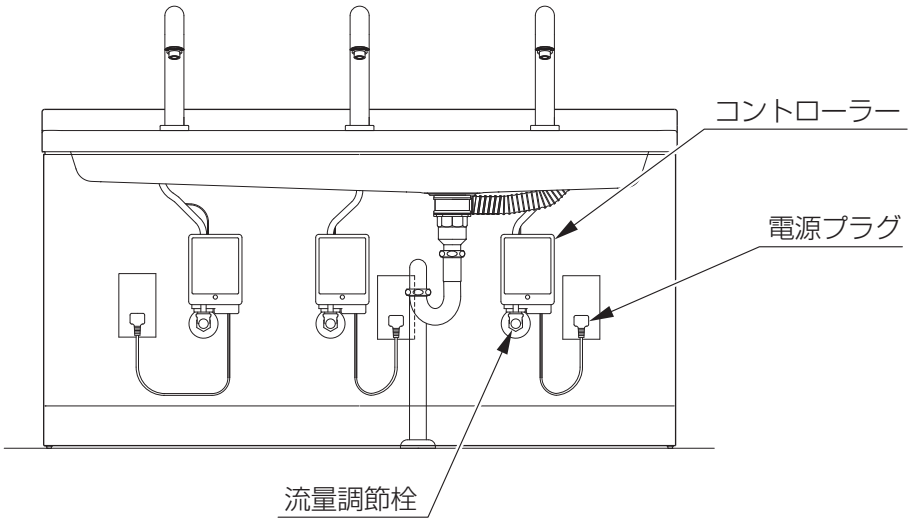


〈キャビネット内部〉

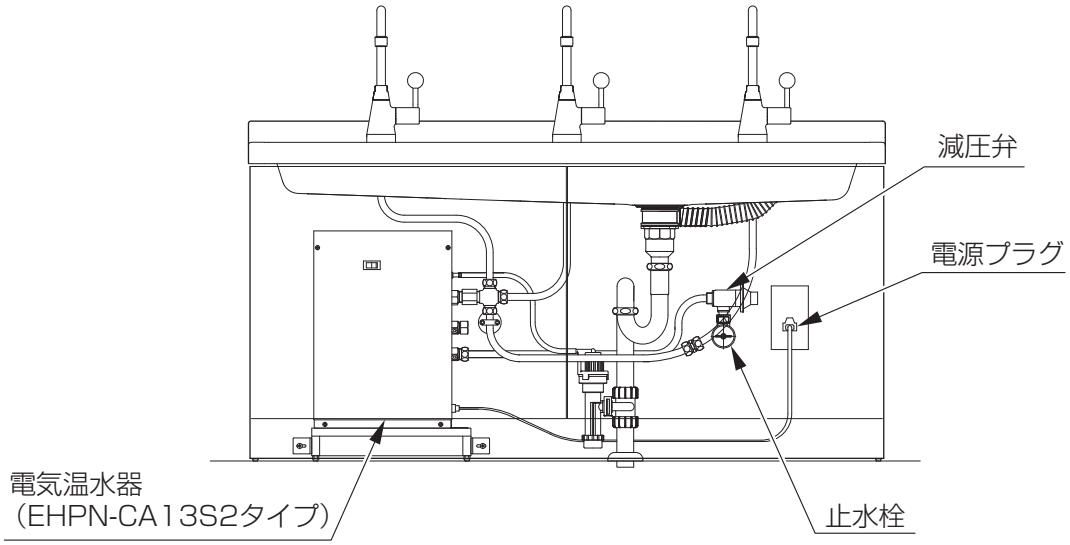
【マルチシンク用レバー水栓の場合】



【自動水栓の場合】（自動水栓は単水栓タイプです。）

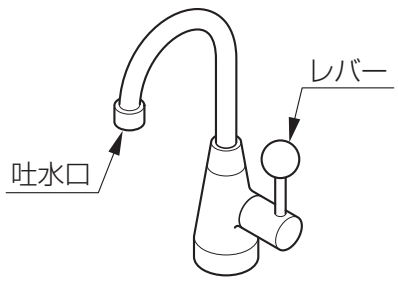


【電気温水器付の場合】

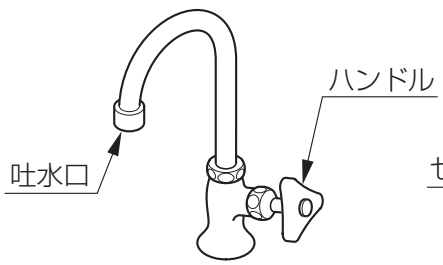


水栓金具の名称

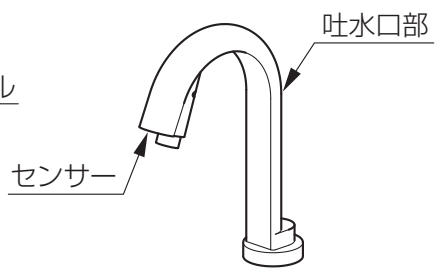
●マルチシンク用レバー水栓



●マルチシンク用立水栓



●自動水栓



●安全上のご注意（必ずお守りください。）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 電気温水器付の場合は、本書以外に電気温水器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

用語および記号の説明

⚠ 警告 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ 注意 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ …… 「注意しなさい！」（上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

…… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

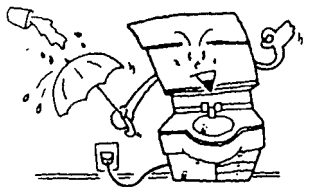
…… 「分解してはいけません！」

…… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

電気部品についての警告

スイッチ、コンセント、電源プラグに水をかけないでください。また、ぬれた手でさわらないでください。
※漏電、感電の恐れがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※感電の原因となります。

指示実行

電源プラグに付いたホコリは、取り除いてください。
※電源プラグにホコリがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

禁止

電気部位が破損した場合、コンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
※そのまま使用すると感電・火災の原因となります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
※感電、火災、故障の原因となります。

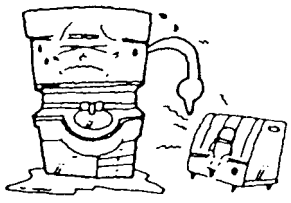
分解・修理・改造についての警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、思わぬケガをすることがあります。
※水栓、排水管より漏水する恐れがあります。

分解禁止

ストーブやヒーターについての警告

ストーブやヒーター等、熱を発生するものを近くに置いて使わないでください。
※火災や変色・変形の恐れがあります。

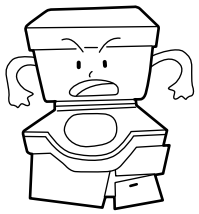


禁止

⚠注意

ケガに注意！！

キャビネット類、扉がガタついたまま、あるいは取付けがゆるんだ状態でのご使用はしないでください。
※部材の外れによりケガをする恐れがあります。（対処方法については「故障かな？と思ったら（31ページ）」をご覧ください。）



禁止

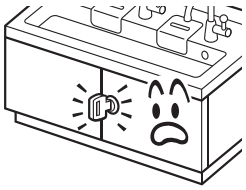
商品が破損したまま使用しないでください。すぐにお取替えや修理を依頼してください。
※落下の恐れや破損部位でのケガの恐れがあります。
※キズやヒビが入った状態で使用すると破損につながりケガをする恐れがあります。

禁止

シンクの上に乗らないでください。
※破損やケガの恐れがあります。

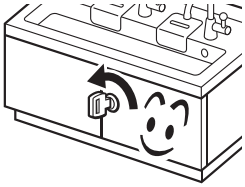
禁止

カギを付けたまま放置しないでください。
※幼児が中に入って、内部の機器でケガをしたり、キャビネット内部に閉じ込められる原因になります。



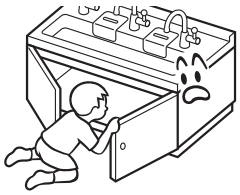
禁止

扉のカギを必ずかけてください。
※幼児が中に入って、内部の機器でケガをしたり、キャビネット内部に閉じ込められる原因になります。



指示実行

扉を開閉する際に、幼児を近づかせない、幼児に開閉させないでください。
※扉や内部の機器でケガをしたり、キャビネット内部に閉じ込められる原因になります。

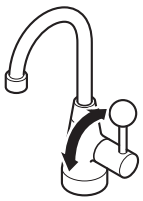


禁止

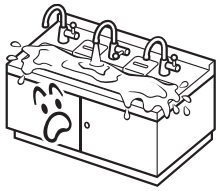
⚠注意

漏水、破損に注意!!

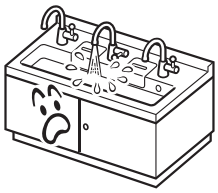
ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。
※漏水で家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。



オーバーフロー穴をふさがないでください。
※排水の流れが悪くなり、水があふれて家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。



水はねが多い場合は、流量を調節して使用してください。
(調節方法はP.13をご覧ください。)
※キャビネットや衣類、家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。



吐水口の先に、ホース等をつないで使用しないでください。
※破損や漏水で家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。

油類、溶剤、強い洗剤を使用しないで!!

次のものは使用しないでください。
・酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類
・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類
・クレンザー等の粒子の粗い洗剤
※変色や変形したり、排水パイプに穴があいて漏水する恐れがあります。

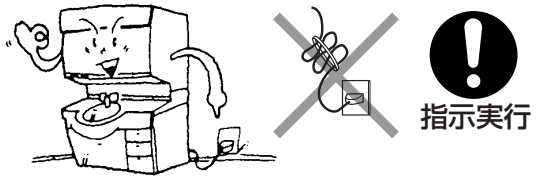
⚠注意

キャビネットに水をかけないで!!

キャビネットに水をかけないでください。
水がかかった場合は、すぐにふき取ってください。
※木が水を含み、ふくらんだり、表面がはがれたりする恐れがあります。

コンセントやコードの発熱に注意!!

電源は必ず専用のコンセントからお取りください。また、コード類を束ねたまま使用しないでください。
※発熱して火災になる恐れがあります。



●使用上のご注意

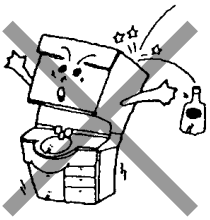
- 故障を起こさないためにお守りください。
- 電気温水器付の場合は、本書以外に電気温水器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

シンクに急に熱湯を注がないで!!

シンクに熱湯を注がないでください。
※シンクが破損する恐れがあります。

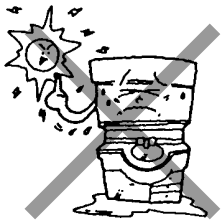
ものを落とさないで！！

重いものや硬いものを落とさないでください。
※キズ、ヒビ割れの原因になります。



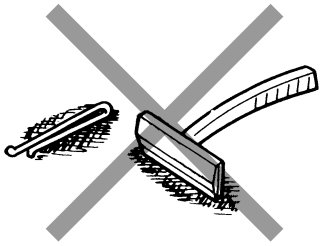
直射日光を当てないで！！

直射日光が当たる場合は、必ずカーテン等でさえぎってください。また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形の恐れがあります。



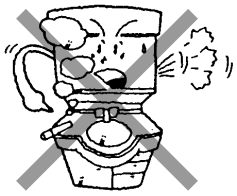
金属類を放置しないで！！

ヘアピン、カミソリの刃等を放置しないでください。
※サビが付着して取れなくなる場合があります。



火を近づけないで！！

火のついたもの（タバコ、マッチ等）を置いたり、近づけたりしないでください。
※コゲ跡が付く恐れがあります。



ぬれたまま放置しないで！！

キャビネットは、ぬれたまま放置しないでください。
※木が水を含み、ふくらんだり、表面がはがれたりする恐れがあります。
※金属がサビる恐れがあります。

絵の具等の使用について

水彩絵の具、ポスターカラー等をシンクに流した場合は、そのまま放置せず、すみやかにシンク内を水ですすいでください。
※色が残る場合があります。

石けんの使用について

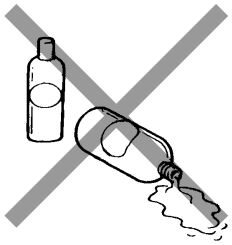
石けんを置くときは、石けんトレイに置いてください。
※シンク上に直接石けんを置いたまま長時間放置すると、シンクが変色する恐れがあります。
※ハンドソープを置く場合は、こまめにふき取りを行ってください。

うがい薬の使用について

着色されたうがい薬が製品に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。
※色が残る場合があります。

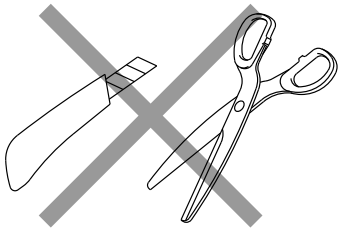
化粧品等の使用について

次のものをシンクにこぼしたり、流したりしないでください。
これらのものが付いた場合は、すばやくふき取ってください。
化粧品、除光液、化粧落とし（クレンジング）、毛染剤、毛髪の脱色剤、ホームパーマ剤、染色剤、芳香剤
※変色や変形の恐れがあります。（除光液・毛染剤・芳香剤等が付くと、跡が残ることがあります。）



使わないで！！

シンク上では刃物や先端が鋭利な物は使用しないでください。
※シンクにキズが付く恐れがあります。



水栓の使用について！！

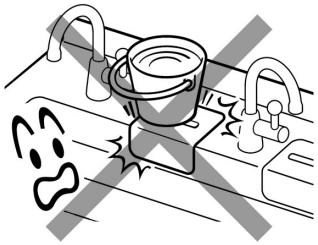
吐水口を真後ろや真横に向けたままで吐水しないでください。
※水が伝い流れて、床や壁をぬらす恐れがあります。

石けんトレイを引っ張らないで！！

石けんトレイを無理に引っ張らないでください。
※鎖が切れる恐れがあります。

石けんトレイにものを載せ過ぎないで!!

石けんトレイに品物を過剰に載せないでください。
※トレイがたわみ、載せたものが落下する恐れがあります。
※トレイに載せる物品重量は1kgまでです。

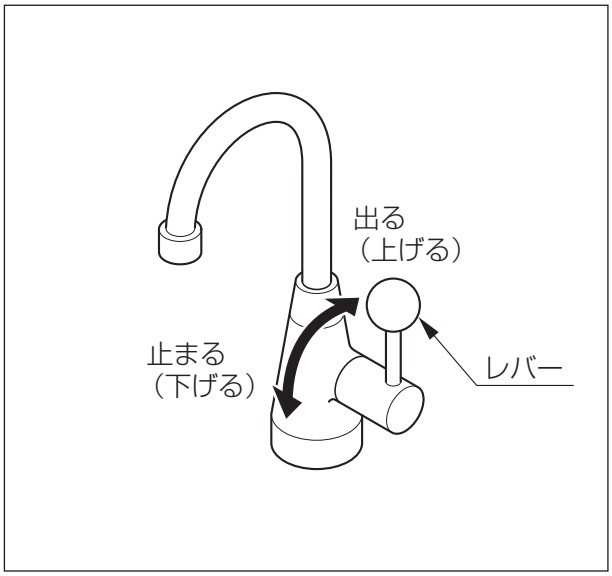


●ご使用方法

1. 水栓金具

【マルチシンク用レバー水栓の場合】

レバーを上げると水が出て、下げると水が止まります。



⚠注意

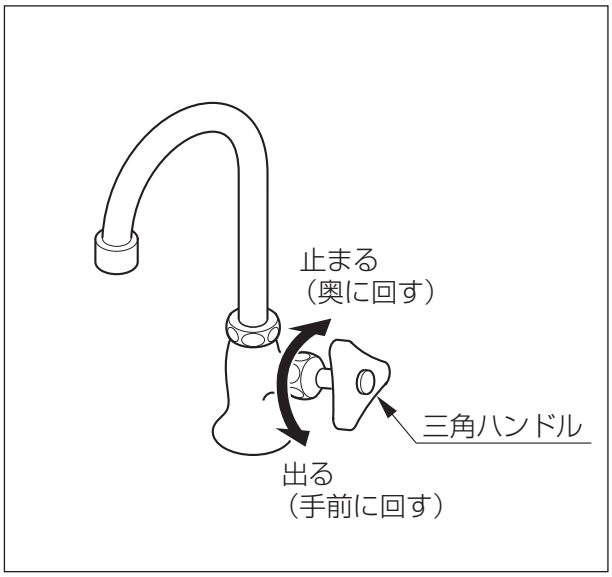
ハンドルはゆっくり操作してください。
※急に止めると漏水の原因となります。

お願い

吐水口を真後ろや真横に向けたままで吐水しないでください。
※水が伝い流れて、床や壁をぬらす恐れがあります。

【マルチシンク用立水栓の場合】

三角ハンドルを手前に回すと水が出て、奥に回すと水が止まります。



お願い

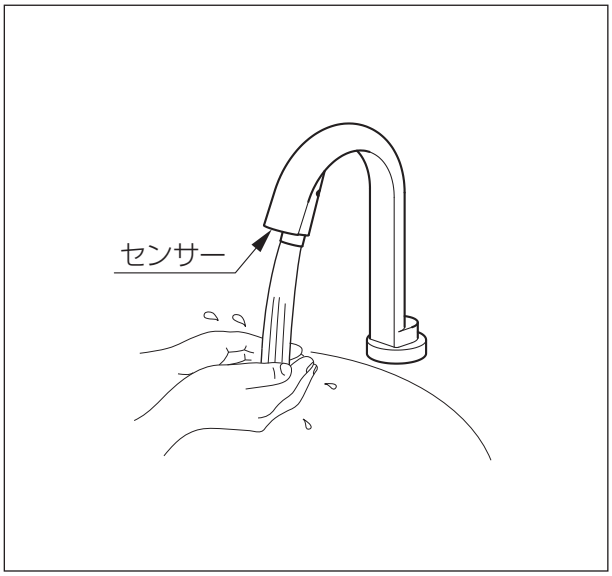
吐水口を真後ろや真横に向けたままで吐水しないでください。
※水が伝い流れて、床や壁をぬらす恐れがあります。

【自動水栓の場合】

吐水口の下に手を差し出すとセンサーが感知して水が出ます。手を引くと1～2秒後に止まります。

ワンポイント

- 1分間吐水が続くと自動的に止まります。再び吐水させたいときは、一度手を引き、再度手を差し出します。
- センサーは、赤外線を透過してしまうガラス等でできたコップや花瓶等を感知できません。
- 吐水口部は固定のため、首振りはできません。



2. 流量の調節

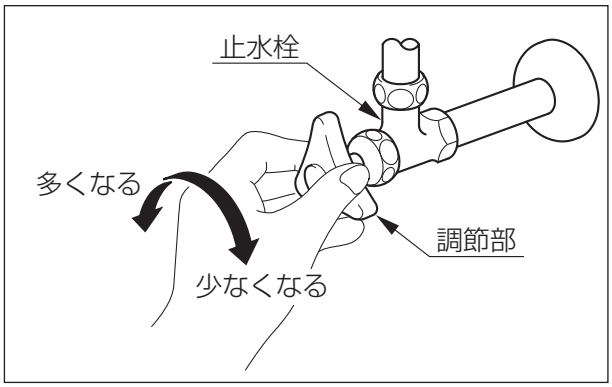
【マルチシンク用レバー水栓、マルチシンク用立水栓の場合】

止水栓を操作して、吐水量の調節を行います。

お願い

止水栓を閉めるときは、何回回したかを記録してください。止水栓を元の位置に戻すとき必要になります。
※元の位置に戻しておかないと施工時と設定が変わり、シンクから水があふれる恐れがあります。

（1）止水栓のハンドルレバー（またはハンドル）をいっぱいまで回して吐出します。
（2）調節部を手で回して調節します。

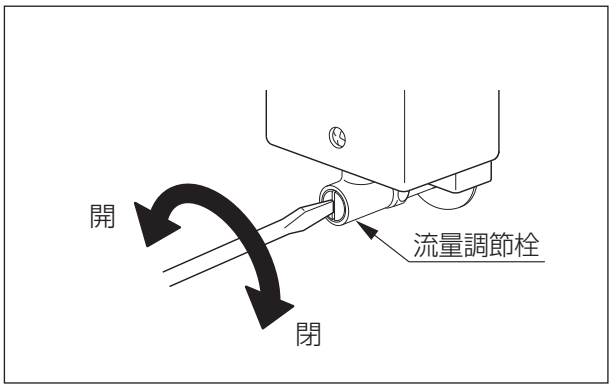


お願い

流量は、5L/分を超えないように調節してください。

【自動水栓の場合】

流量調節栓が全開になっていることを確認してください。

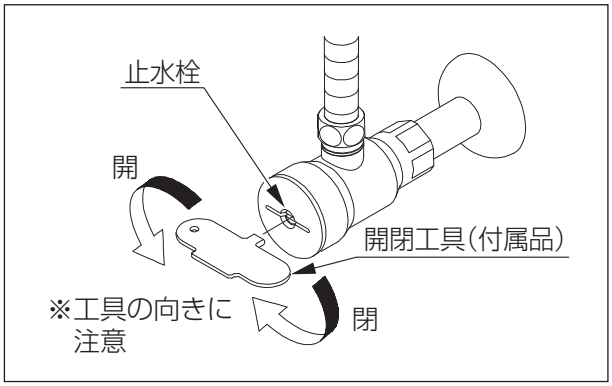


ワンポイント

定流量弁が入っていますので、一定以上の流量（約4.6L/分以上）は出ません。

【電気温水器付の場合】

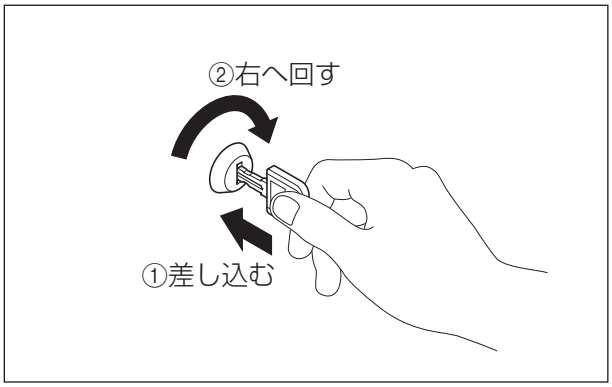
付属の開閉工具で調節します。



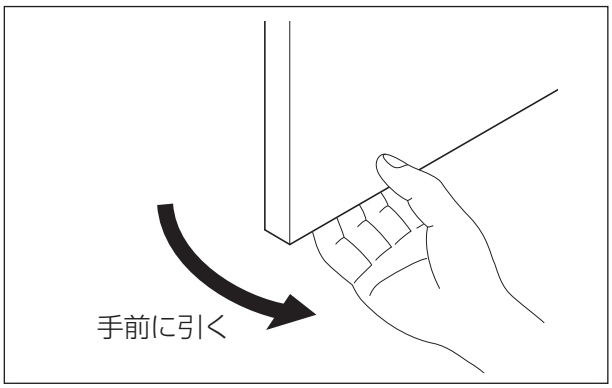
3. キャビネット扉

■ 扉の開け方

（1）カギをカギ穴に差し込み、右へ90˚回します。



（2）扉の下側を持って手前に引きます。

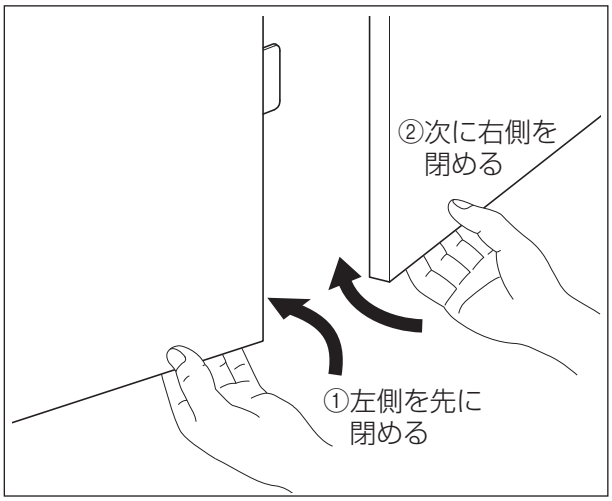


■ 扉の閉め方

（1）左側扉の下側を持って閉めます。
（2）右側扉の下側を持って閉めます。

⚠注意

扉の下側を持って閉めてください。
※扉の上側を持って扉を閉めると指を挟む恐れがあります。

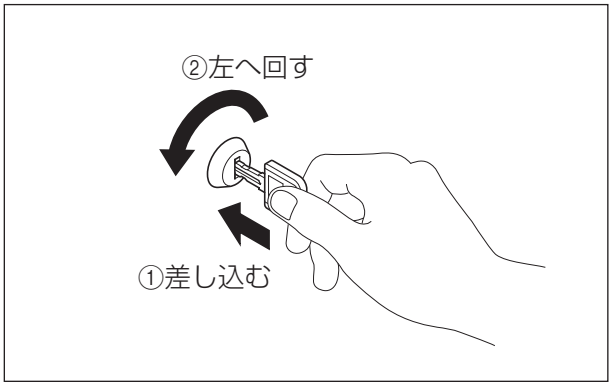


（3）カギをカギ穴に差し込み、左へ90˚回します。

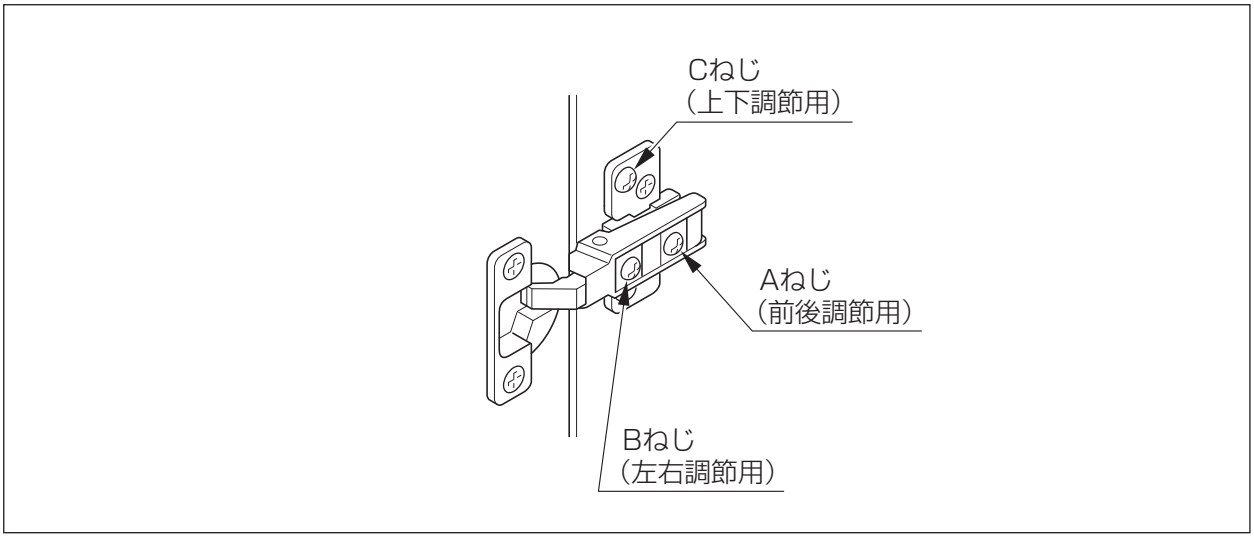
⚠注意

- 幼児のいたずら防止のため、扉は施錠してください。
- 扉にカギを付けたまま放置しないでください。

※思わぬケガが発生する恐れがあります。



■ 扉の調節



⚠注意

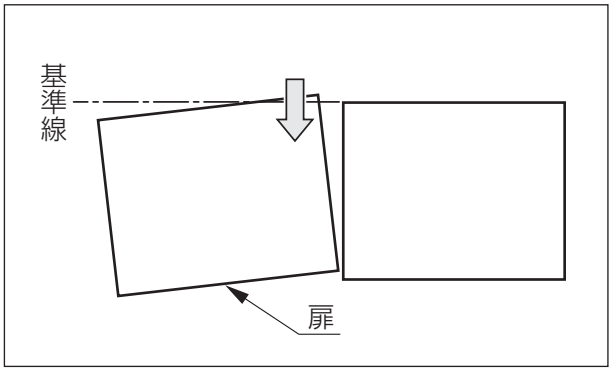
調節する際は、Aねじ、Bねじ、Cねじ以外のねじは絶対にゆるめないでください。
※蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。

ワンポイント

- Aねじ、Bねじは、扉を取り付けたままで調節できます。Cねじは、扉を取り外してから調節してください。
- 片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉で交互に調節を行ってください。

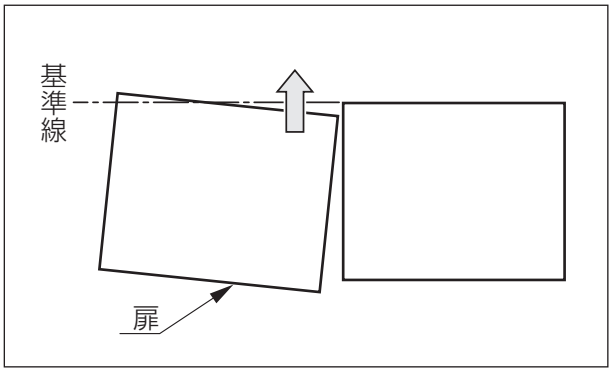
● 扉の先端が上がっているとき

（1）扉上方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。または、扉下方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。
（2）扉を閉めて確認します。
（3）正しい位置になるまで(1)、(2)を繰り返します。



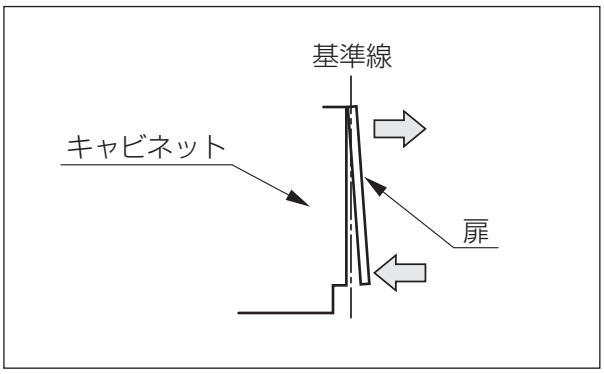
● 扉の先端が下がっているとき

（1）扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。または、扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。
（2）扉を閉めて確認します。
（3）正しい位置になるまで(1)、(2)を繰り返します。



● 扉と側板のすき間が上下異なるとき

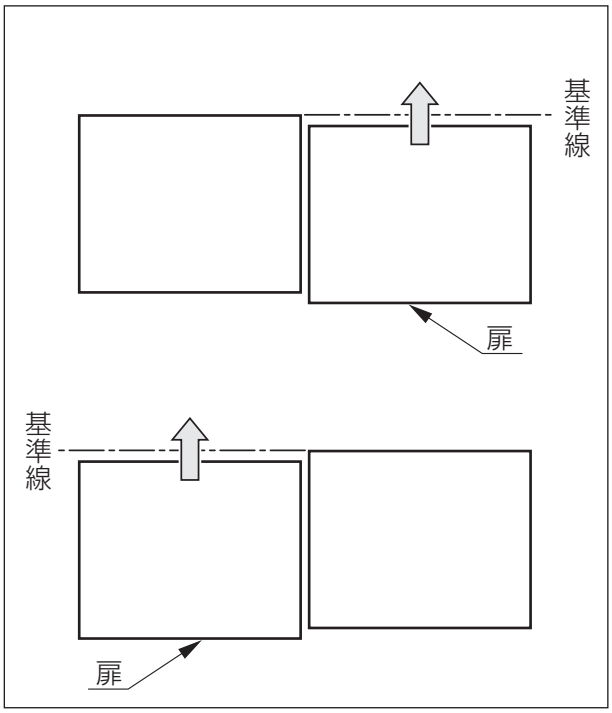
（1）すき間を広くする場合、蝶番のAねじを左へ回して調節します。
（2）すき間を狭くする場合、蝶番のAねじを右へ回して調節します。



● 扉の位置が上下異なるとき（扉を外してから調節します）

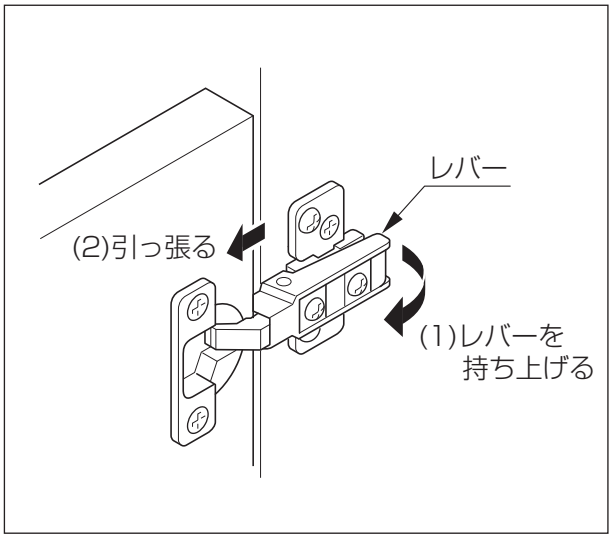
●右扉の高さの調節
（1）扉の高さを上げる場合、扉上方、下方、両方の蝶番のCねじを右へ回して調節します。
（2）扉の高さを下げる場合、扉上方、下方、両方の蝶番のCねじを左へ回して調節します。

●左扉の高さの調節
（1）扉の高さを上げる場合、扉上方、下方、両方の蝶番のCねじを左へ回して調節します。
（2）扉の高さを下げる場合、扉上方、下方、両方の蝶番のCねじを右へ回して調節します。



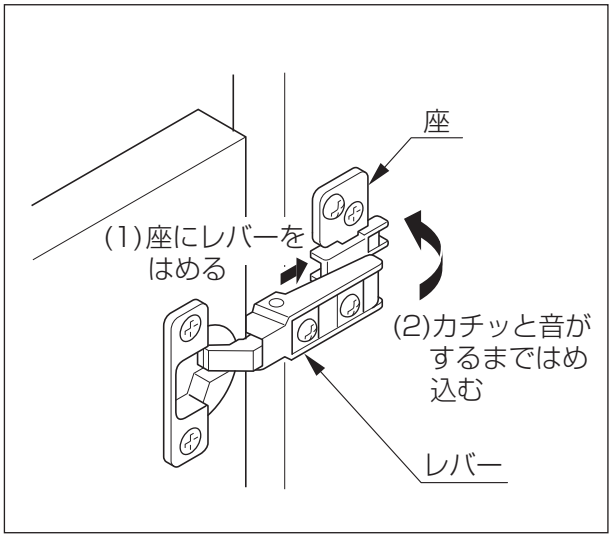
■ 扉の取外方法

（1）蝶番のレバーを矢印の向きに持ち上げます。
（2）蝶番を矢印の向きに引っ張って、取り外します。



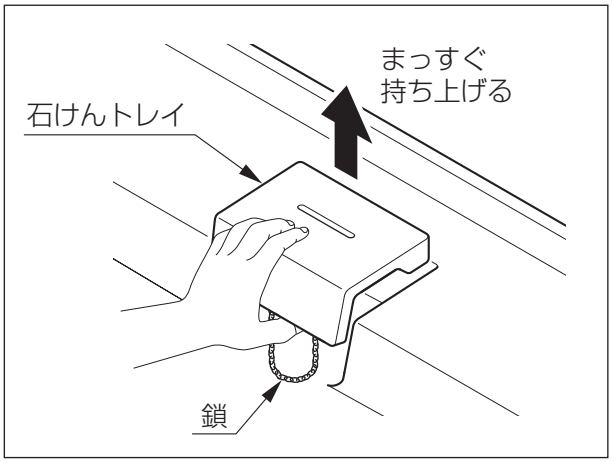
■ 扉の取付方法

（1）蝶番のレバーを座にはめます。
（2）蝶番のレバーを矢印の向きに「カチッ」と音がするまではめ込みます。



4. 石けんトレイ

鎖でシンクとつながっており、着脱ができます。バケツの水くみのときに、いったん外すことで、バケツが置きやすくなります。



お願い

- 重いものを載せないでください。

※トレイがたわみ、載せたものが落下する恐れがあります。

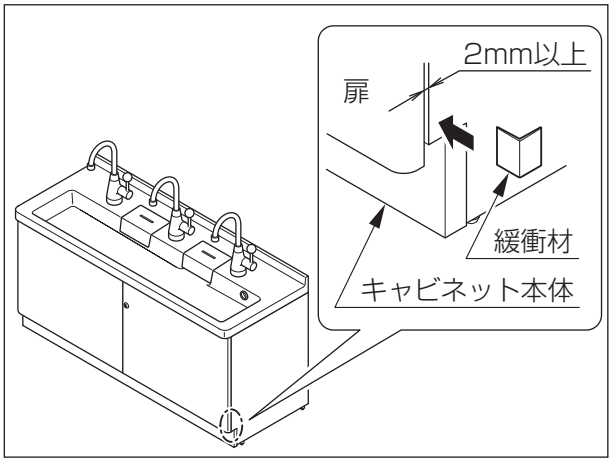
※トレイに載せる物品重量は1kgまでです。

- 石けんトレイを無理に引っ張らないでください。

※鎖が切れる恐れがあります。

5. 付属品（緩衝材）のご使用方法

キャビネットの角にぶつかったときの衝撃をやわらげる緩衝材を付属しています。設置されたキャビネットの角が気になる場合に取り付けてください。



■ 取付方法

（1）扉とキャビネット本体のすき間を2mm以上に調節してください。調節方法は「扉の調節（15、16ページ）」をご覧ください。

（2）取り付ける場所の汚れやホコリ等をふき取り、乾かします。

（3）同梱の両面テープの片側をはがし、取り付ける縁に貼り付けます。

（4）残りの片側をはがし、部品を押しつけるようにしてしっかり貼ってください。

お願い

ホコリ、自然劣化によりはがれ落ちる場合があります。テープの粘着が低下した場合は、市販の塩化ビニル用両面テープをご使用ください。

電気温水器のご使用方法は電気温水器の取扱説明書をご覧ください。

●お手入れ方法

⚠警告

電気部品についての警告

コンセント、電源プラグに水をかけないでください。また、ぬれた手で触らないでください。
※ 漏電、感電の恐れがあります。

禁止

⚠注意

油類、溶剤、強い洗剤を使用しないで！!

次のものは使用しないでください。
・酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類
・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類
・クレンザー等の粒子の粗い洗剤
※変色や変形したり、排水パイプに穴があいて、漏水の恐れがあります。

禁止

■ 日頃のお掃除

● キャビネット本体のお掃除

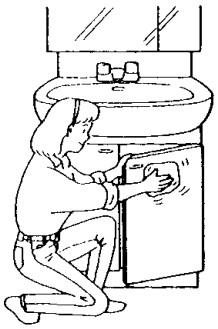
固くしぼったぬれぶきんで汚れをふき取ります。

お願い

ぬれたままで放置しないでください。
※木が水を含み傷む恐れがあります。

ワンポイント

頑固な汚れをとるには、食器用中性洗剤を100倍程度に薄めた液を湿らせた布でふきます。ふいた後は、固くしぼったぬれぶきんで洗剤をふき取ります。



● シンクのお掃除

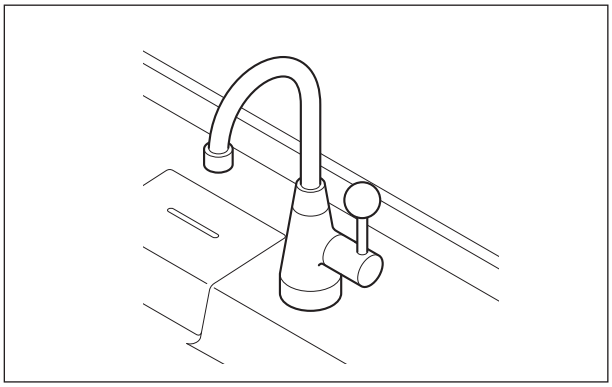
スポンジか柔らかい布に食器用中性洗剤（100倍程度に薄めた物）を含ませ汚れをふいてください。

お願い

ナイロンタワシ、ブラシ等は使用しないでください。
※シンクの表面を傷つける恐れがあります。

● 水栓金具のお掃除

柔らかい布に100倍程度に薄めた食器用中性洗剤を含ませて汚れをふき取ります。
ふいた後は、固くしぼったぬれぶきんで洗剤をふき取ります。

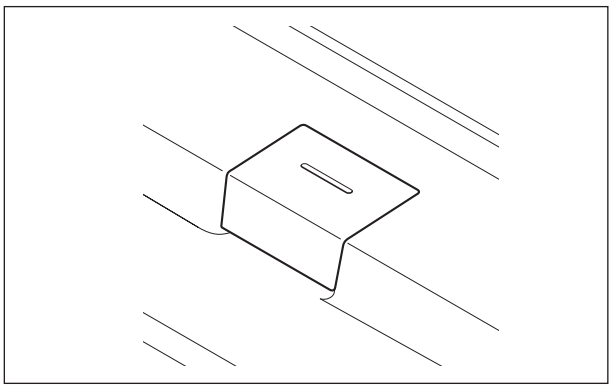


お願い

ナイロンタワシ、ブラシ等は使用しないでください。
※水栓の表面を傷つける恐れがあります。

● 石けんトレイのお掃除

固形石けんを置く場合は、特に汚れやすいため、こまめに掃除してください。
柔らかい布に100倍程度に薄めた食器用中性洗剤を含ませて汚れをふき取ります。
ふいた後は、固くしぼったぬれぶきんで洗剤をふき取ります。



ワンポイント

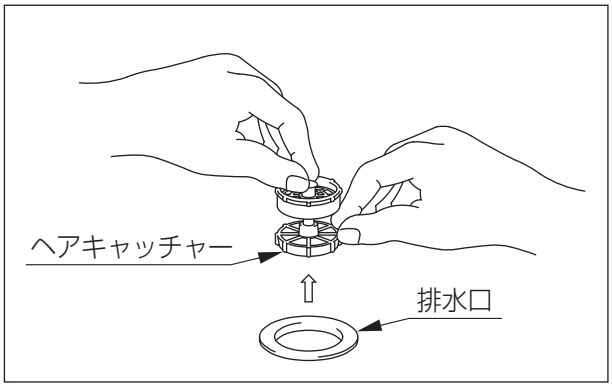
食器用中性洗剤で汚れが落ちない場合、消しゴムでこすると落ちる場合もあります。

お願い

ナイロンタワシ、ブラシ等は使用しないでください。
※水栓の表面を傷つける恐れがあります。

● ヘアキャッチャーのお掃除

シンクに向かって右側の石けんトレイを外した後、ヘアキャッチャーを上方に引き抜きます。
ヘアキャッチャーに付いているゴミを取り除き、元通りはめ込みます。

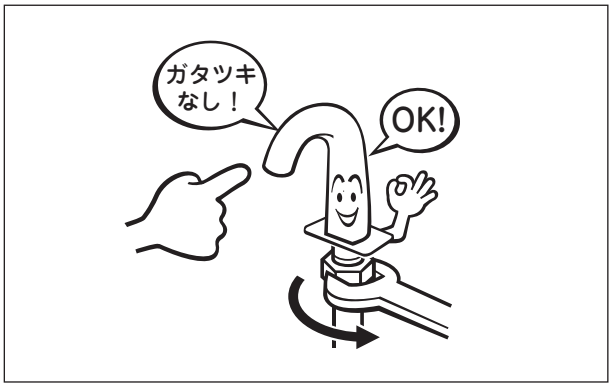


電気温水器のお手入れ方法は電気温水器の取扱説明書をご覧ください。

■ 定期的なお手入れ

● 水栓本体のガタつき（年2回以上）

水栓本体にガタつきがないか確認してください。

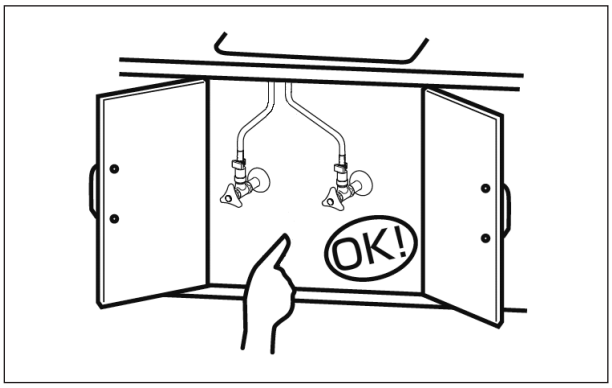


⚠注意

配管に負担がかかり、水漏れの原因になります。
水栓本体がガタついている場合は、増し締めしてください。

● 配管まわりの水漏れ（年2回）

配管まわりに水漏れがないか確認してください。

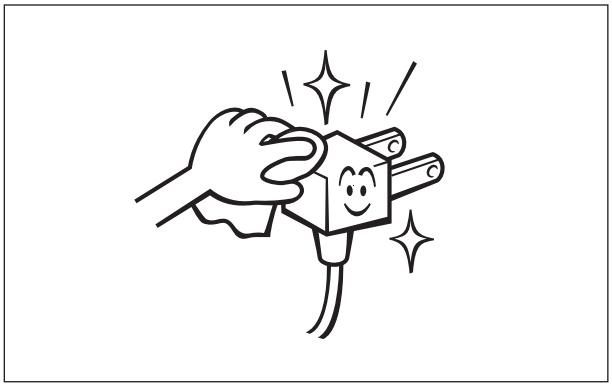


⚠注意

摩耗・劣化等で部品が破損し、ケガをしたり、水漏れして家具等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。
水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め、お求めの取扱店・販売店またはINAXメンテナンスへ修理をご依頼ください。

● 電源プラグのお掃除（月1回以上）【自動水栓、電気温水器付の場合】

電源プラグに付いたホコリを取り除いてください。



⚠注意

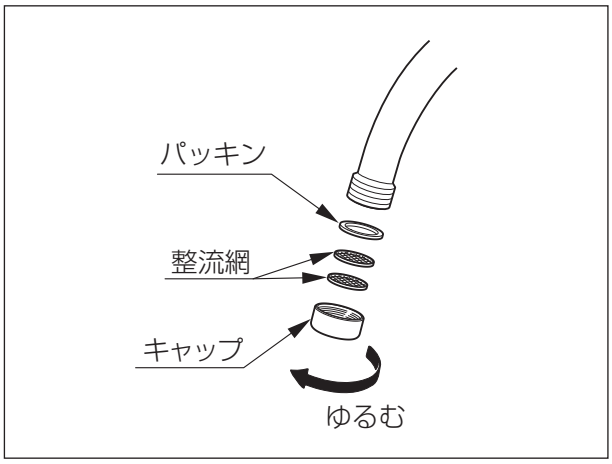
電源プラグにホコリがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

● 吐水口のお掃除（月1回以上）
【マルチシンク用レバー水栓、マルチシンク用立水栓の場合】

（詳しくは、水栓金具の取扱説明書をご覧ください。）

整流網のゴミ詰まりは、機能を低下させます。次の要領で整流網を掃除してください。

手でキャップを回して整流網を取り出し、水で清掃してください。

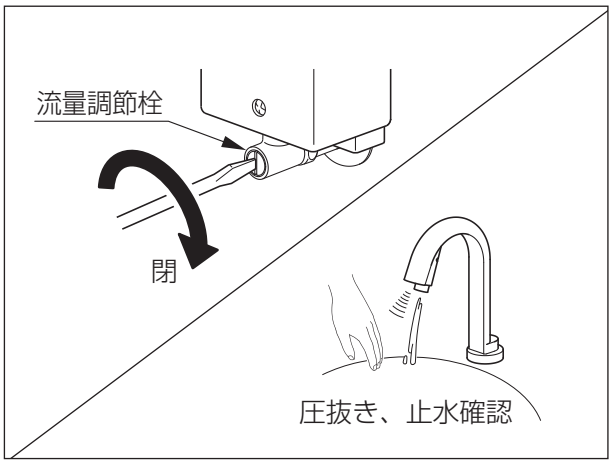


【自動水栓の場合】

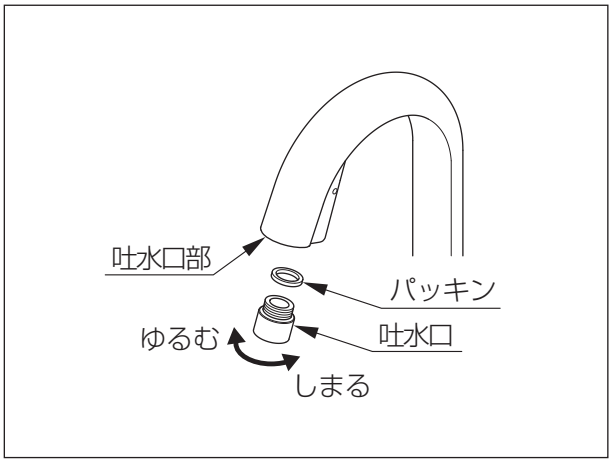
（詳しくは、自動水栓の取扱説明書をご覧ください。）

吐水口内部のゴミ詰まりは、機能を低下させます。次の要領で掃除してください。

（1）止水するため、流量調節栓を時計回りいっぱいにねじ込みます。手を差し出し、センサーを感知させて止水確認、圧抜きをします。



（2）手で吐水口を回して取り外し、吐水口を水で掃除してください。



お願い

- パッキンはよじれないように吐水口の中に入れて、吐水口部に取り付けてください。
- 掃除したときは、吐水口をしっかり締めてください。
- 通水時に必ず水漏れの確認を行ってください。
- パッキンが入っているので、紛失しないように注意してください。

（3）取付けは逆の手順で行い、流量調節栓を元に戻します。

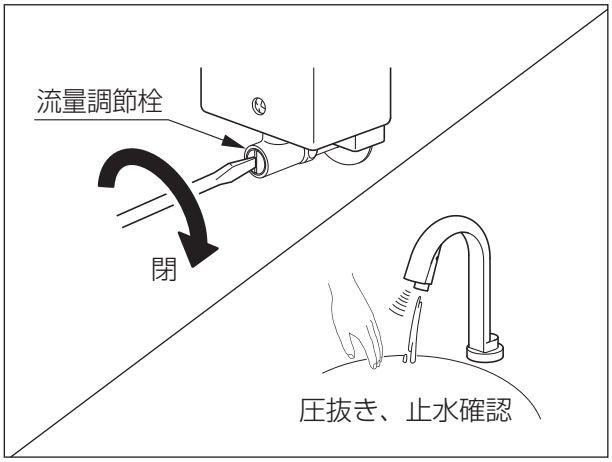
● ストレーナーのお掃除（月1回以上）【自動水栓の場合】

（詳しくは、自動水栓の取扱説明書をご覧ください。）

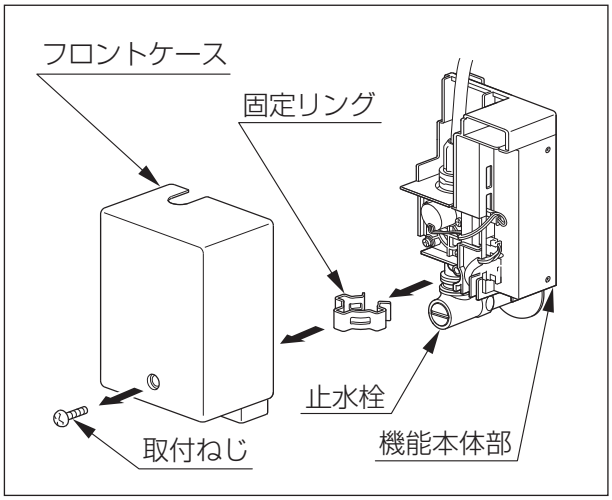
流量が少なくなった場合や吐水が乱れてきた場合は、ストレーナーのゴミ詰まりが考えられます。次の要領で掃除してください。

（1）止水するため、流量調節栓を時計回りいっぱいにねじ込みます。

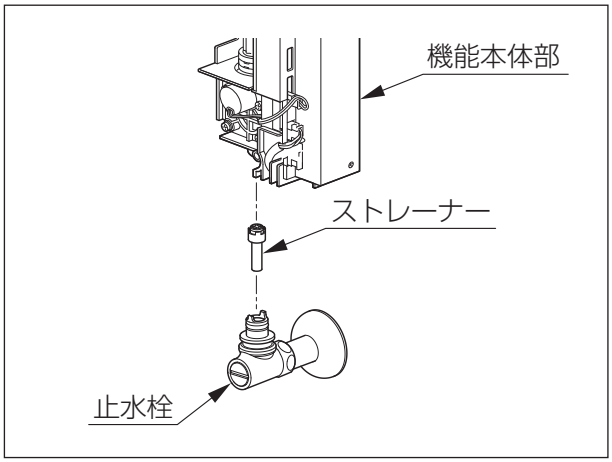
（2）手を差し出し、センサーを感知させて止水確認、圧抜きをします。



（3）フロントケース、固定リングを取り外し、機能本体部を取り外します。



（4）止水栓の中に収まっているストレーナーを取り出し、ストレーナーのゴミ等を洗い流します。



お願い

ストレーナー内部に定流量弁が入っている場合、定流量弁を紛失しないように注意してください。

（5）取付けは逆の手順で行い、流量調節栓を元に戻します。

お願い

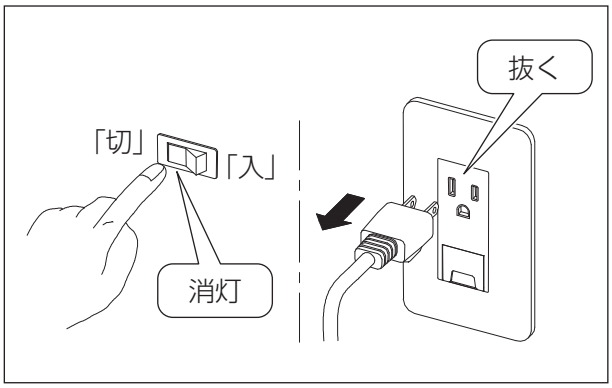
定流量弁が取り外してある場合は、流量調節栓にて適正流量に調節してください。

● フィルターのお掃除（月1回以上）
【電気温水器付の場合】

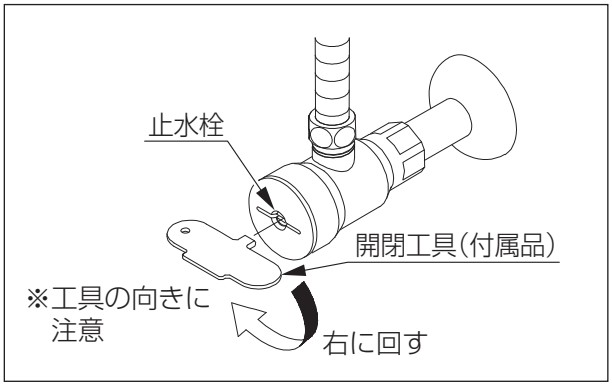
（詳しくは、電気温水器の取扱説明書をご覧ください。）

機器の設置当初や長期間使用している間に、配管内を流れてきたゴミがフィルターに詰まって、湯や水の出が悪くなることがあります。湯や水の出が悪くなった場合、次の要領で掃除してください。

（1）電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜きます。



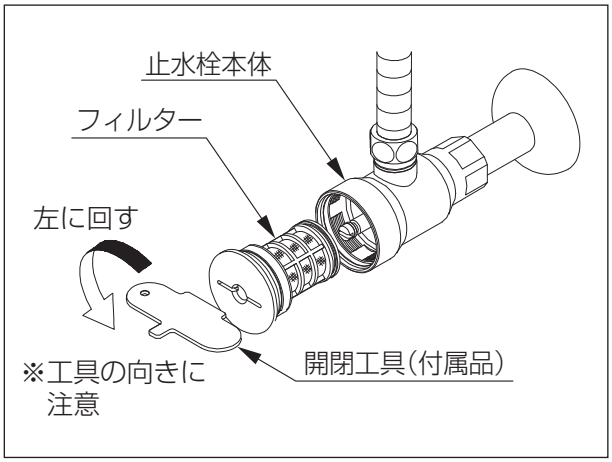
（2）専用の開閉工具を使用して、止水栓を閉めます。



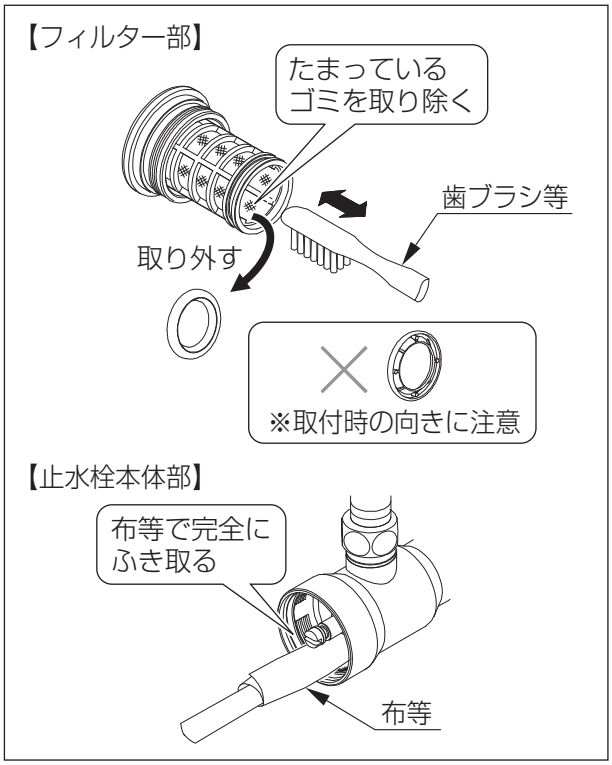
（3）開閉工具（止水栓に付属）を使用して、フィルターを取り外します。

お願い

フィルターを取り外すと、止水栓から水がこぼれます。止水栓下部に洗面器等を置き、水を受けてください。



（4）フィルターおよび止水栓本体内部のゴミをブラシ等で取り除きます。
（5）取外しと逆の手順でフィルターを取り付けます。



● ストレーナーのお掃除
（前述の「フィルターのお掃除」をしても湯の出が悪い場合）
【電気温水器付の場合】

（詳しくは、電気温水器の取扱説明書をご覧ください。）

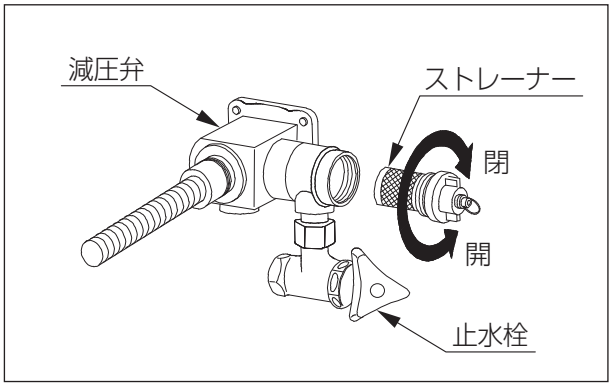
フィルターの掃除を行っても湯量が増えない場合は、次の要領でストレーナーの掃除を行ってください。

（1）水抜きをします。（電気温水器の取扱説明書をご覧ください。）
（2）ペンチ等を使用してストレーナーを外します。

お願い

ストレーナーを外すと、少量の水がこぼれます。取外し部にタオル等をあてがいながら、ストレーナーを外してください。

（3）ストレーナーの網目に詰まったゴミをブラシ等で取り除き、水洗いします。
（4）ストレーナーを元の位置に戻します。



●定期的な部品交換のお願い

摩耗・劣化する部品は、定期的な部品の交換が必要です。
摩耗・劣化したままご使用になると、水漏れ等の原因になりますので必ず定期的な部品の交換をしてください。
（詳しくは、水栓金具の取扱説明書をご覧ください。）

●定期的な部品点検のお願い

電気温水器付の場合、定期的に電気温水器の点検が必要です。
（詳しくは、電気温水器の取扱説明書をご覧ください。）

●凍結の恐れがある場合

● 凍結が予想される場合は、水栓周囲温度が氷点下にならないようにしてください。
（詳しくは、水栓の取扱説明書をご覧ください。）

● 電気温水器の電源スイッチは「入」のままにしておいてください。
（詳しくは、電気温水器の取扱説明書をご覧ください。）

●修理を依頼される前に　故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

部位	現　象	原　因	処　置	参照ページ
キャビネット	扉がガタついている。	・蝶番がゆるんでいる。 ・扉調節金具のねじがゆるんでいる。	・蝶番の増締めをします。増締めをした後、扉がずれていたら調節します。 ・扉のずれを調節します。	15、16ページ
	扉の先端が上がっている。			
	扉の先端が下がっている。			
	扉と側板のすき間が上下で異なる。			
	扉の位置が上下異なる。			
水栓	水が出ない。	断水している。	断水していないか確認してください。	―
		（自動水栓の場合） 電源プラグが完全に差し込まれていない。	電源プラグを確実に差し込んでください。	―
		（自動水栓の場合） ヒューズやブレーカーが切れている。	停電していないか確認してください。 分電盤を確認してください。	―
		（自動水栓の場合） 停電している。		
	吐出量が少ない。 （水の勢いが弱い）	止水栓が十分開いていない。	止水栓を左に回して全開にします。	13ページ
		吐水口が詰まっている。	吐水口を掃除します。	23、24ページ
電気温水器	お湯が出ない。	「電源スイッチ」が切れている。	電源スイッチを入れてください。	―
		ヒューズやブレーカーが切れている。	停電していないか確認してください。 分電盤を確認してください。	―
		停電している。		
排水口	排水しない、あるいは排水がスムーズではない。	排水口（ヘアキャッチャー）が詰まっている。	排水口（ヘアキャッチャー）を掃除します。	21ページ
		排水管が詰まっている。	排水管を掃除します。	―
排水管	漏水する。	排水管がしっかり締まっていない。	しっかり締め込みます。	―

※水栓金具、電気温水器についての詳細は別途専用の取扱説明書をご覧ください。
※上記の処置をしても直らないときは、コンセントプラグを抜いて、お取付店（または販売店）、またはINAXメンテナンスにご相談ください。

●アフターサービスについて

■ 修理依頼・ご相談について

より安全にご使用いただくために、次の場合は必ずお求めの取扱店にご相談ください。

- “取扱説明書”どおりに使用されても、まだご不明な点があるとき

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、思わぬケガをすることがあります。
※水栓、排水管より漏水する恐れがあります。

分解禁止

■ 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより3年たったもの。
- 温泉地域および海岸付近等、特に腐食を起こしやすいところで使用されるもの。

■ 保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は取付日より2ケ年です。
保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

■ 修理を依頼されるとき

お求めの取扱店または、保証書に記載のINAXメンテナンス（フリーダイヤルをご利用ください）までご相談ください。

〈保証期間中は〉

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

〈保証期間が過ぎているときは〉

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

〈修理料金は〉

- “技術料”＋“出張料”＋“部品代”で構成されています。

〈連絡していただきたい内容〉

1.ご住所、ご氏名、電話番号
2.商品名
3.品番（商品に表示）
　・キャビネット：内部側面に記載
　・手洗器　　：手洗器側面に記載
4.ご購入日
5.故障内容、異常の状況
6.訪問ご希望日

■ 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低6年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。
保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。なお補修用性能部品の保有期間は経済産業省の指導によるものです。

■ アフターサービス等についてお分かりにならないとき

取扱店またはお客さま相談センター（保証書に記載のフリーダイヤルをご利用ください）へお問い合わせください。

●仕様

項目	仕様表					
サイズバリエーション	600サイズ（4−5歳向け）			500サイズ（1−3歳向け）		
水栓バリエーション	マルチシンク用 レバー水栓	マルチシンク用 立水栓	自動水栓	マルチシンク用 レバー水栓	マルチシンク用 立水栓	自動水栓
外形寸法	1200×470×640 （※溢れ縁高さ600mm）			1200×470×540 （※溢れ縁高さ500mm）		
シンク	人造大理石					
キャビネット	メラミン化粧板					
使用水圧範囲	給水圧力0.05MPa（流動圧） 〜0.75MPa（静水圧）					
電源電圧			AC100V （50／60Hz）			AC100V （50／60Hz）
給排水方向	壁給水、壁排水 壁給水、床排水 床給水、壁排水 床給水、床排水		壁給水、壁排水 壁給水、床排水	壁給水、壁排水 壁給水、床排水 床給水、壁排水 床給水、床排水		壁給水、壁排水 壁給水、床排水

電気温水器仕様

項目	仕様表	
サイズバリエーション	600サイズ（4−5歳向け）	
対応水栓	マルチシンク用 レバー水栓	マルチシンク用 立水栓
給水方式	先止め式	
使用水圧範囲	給水圧0.10MPa（流動圧）〜0.75MPa（静水圧）	
電源電圧	AC100V（50／60Hz）	
電源プラグ	接地極付タイプ（125V／15A）	
出湯温度	約38℃（安全サーモスタット内蔵）※2	
ヒーター能力	700W	
タンク容量	13L	
わきあがり温度	約70℃	
わきあがり時間 （15℃→77℃）	約71分	
標準出湯量※1	約28L	
減圧弁・安全弁	減圧弁同梱（0.08MPa）・安全弁内蔵	
給排水方向	壁給水、壁排水 壁給水、床排水 床給水、壁排水 床給水、床排水	

※1　水温15℃、出湯温度38℃、電気温水器からの出湯量4L/分、わきあがり設定温度が最高の条件で、一度に使用できる量。

※2　安全サーモスタットの温度は変更できません。

LIXIL
INAX

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※　品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：　幼児用マルチシンク　（品番：　）			
保証期間　取付日より　2 ヶ年		取付日　年　月　日	
お客さま	おなまえ　様	取扱店名	
	おところ		
	おでんわ （　）　ー	TEL（　）　ー	

無効

お客さまへ
- 保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
- お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1．「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2．無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3．ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはＩＮＡＸメンテナンスにご相談ください。
4．保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
(1)用途以外(車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等)に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
(2)指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
(3)お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
(4)専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
(5)建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
(6)経年変化使用に伴う外観上の現像(塗装の色あせ、もらい錆等)または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
(7)海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス)に起因する不具合
(8)小動物(犬、猫、ねずみ、昆虫等)の行為または蔓(つる)や根などの植物の害に起因する不具合
(9)天災地変(火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等)に起因する不具合による故障および損傷
(10)戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
(11)自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
(12)消耗品(パッキン)類、配管中の異物のつまり等による故障及び損傷
(13)水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（※水道水とは、水道事業体が供給する上水をいう）
(14)寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
(15)給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
(16)保証書の期限切れまたは提示がない場合
(17)本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明の場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7．修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6ヶ年です。

●当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは
お客さま相談センターまで
TEL 0120-1794-00 FAX 0120-1974-30
受付時間
平日　9：00～18：00　土・日・祝日　9：00～17：00
（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）お求めの販売店またはINAXメンテナンスまで
TEL 0120-1794-11　FAX 0120-1974-56
受付時間　9：00～20：00（365日受付＆修理）
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。
TEL 0562-40-4050　FAX 0562-40-4053

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス http://www.lixil.co.jp/